

起業家を生む取組

Kyoto Monthly Pitch(毎月一回定期開催)

「学生の街」京都から起業家がありふれる世の中をつくるため、関西在住の若手起業家が将来活躍していくきっかけとなるピッチ。

若手スタートアップ経営者とのトークセッションを通して、仲間や投資家との出会いの場を形成



KOINアクセラレーションプログラム（年2回実施）

ビジネス・プロデューサーや起業家から助言やヒントにより、個人のビジネスアイデアをプロジェクトに育てるアクセラレーションプログラム



【起業家を育てる取組】シード・アーリー支援

「京都発スター創生事業」 [主催：京都府、(公財)京都産業21 (R3. 1. 26)]

大学発ベンチャー等の資金調達支援・協業先
開拓のためのピッチ会をオンラインで開催

(株)Geek Guild
世界初AIモデルをオープン
ソースにしスマホに入る超小
型AIの実用化をめざす

- 参加者：スタートアップ登壇社数12社、VC・金融関係者34名、事業会社関係者28名、支援機関関係者69名
⇒総額76億6,000万円の資金調達実績 (H28 からの計9回の合計)



「エンジェルコミュニティ交流会」 [主催：京都府、(公財)京都産業21 (R3. 3. 29)]

企業経営者及びエンジェル投資家で構成するエンジェル
アドバイザーに対し事業計画を発表と交流会を開催

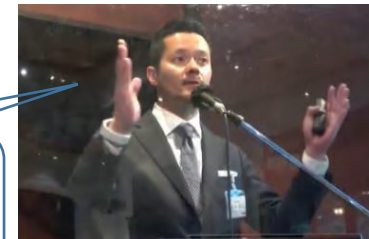
登壇企業7社



ものレボ(株)

製造業専門のクラウドア
プリケーションにより、中小
企業の工場のDX化に貢献

アドバイザーとの結びつきに
より、希望するチャネルとの商談
に結び付いた企業あり！



参加エンジェルアドバイザー

(株)SCREENホールディングス 垣内永次 氏
(株)片岡製作所 片岡宏二 氏
(株)トーセ 齋藤茂 氏
(株)クロスエフェクト 竹田正俊 氏
(株)堀場製作所 堀場厚 氏
村田機械(株) 村田大介 氏
KEIRETSU FORUM JAPAN
アレン・マイナー 氏
K2 Frontier 今庄啓二 氏



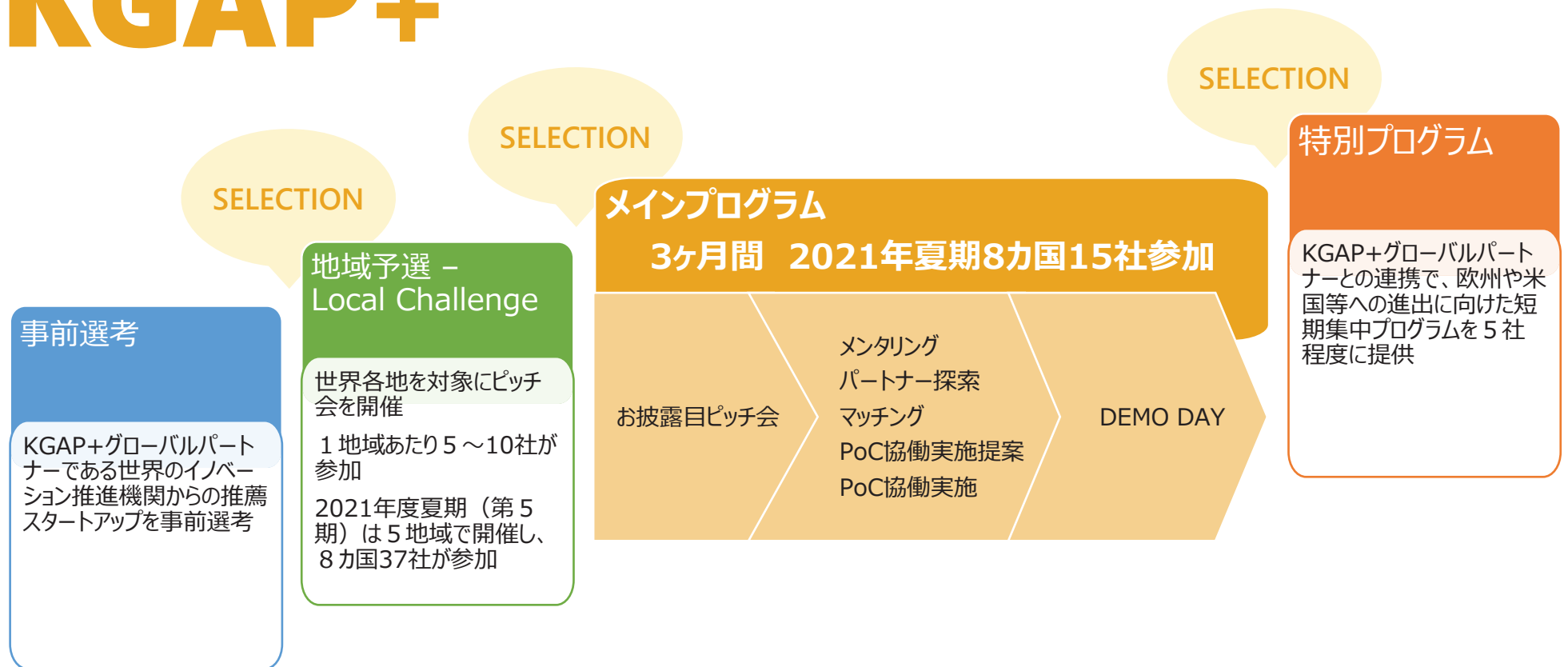
グローバル化への対応

けいはんなグローバルアクセラレーションプログラムプラス（KGAP+）

国内に加え世界各地から選ばれたスタートアップに対し、日本の大手企業等との協働によるPoCを通じて日本での事業拡大や世界展開をサポート

Keihanna Global Acceleration Program Plus

KGAP+



グローバル化への対応

スタートアップエコシステムランキング調査会社「Startup Blink」の**The Global Startup Ecosystem Index Report 2021**では、**京都のエコシステムは、国内では東京に次いで2位にランクイン**

Kyoto Startup Ecosystem Overview

CITY RANKING

National Ranking

2nd⁺²

in Japan

Regional Ranking

11th⁺³

in East Asia

Global Ranking

124th⁺¹²⁷

worldwide

TOP

INDUSTRIES



Health

#14 worldwide



Energy & Environment

#99 worldwide



Hardware & IoT

#108 worldwide

参照 : <https://www.startupblink.com/startupecosystem/kyoto+japan>

スタートアップの社会実装について（調達・実装支援等）

○チャレンジバイ【京都府】

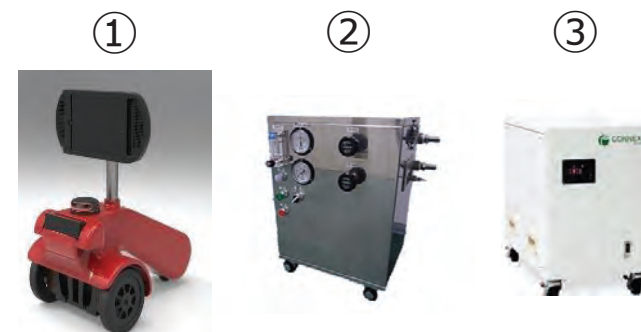
- ・米国「S B I R 制度」を、都道府県では全国に先駆けて「チャレンジバイ」制度として創設（H19年度～）
- ・府内の中小企業やスタートアップなどの優れた新商品・新サービスを認定・公表・PR。府庁での率先購入や新商品などの販売促進を図る。

【認定実績】

131社、158商品（累計数、令和3年7月末時点）

【主な導入実績】

- ①遠隔操作や自動運転可能なロボット作成サービスの導入（株Keigan）
- ②超微細気泡発生装置の農林センターへの導入（株グリーンバブル研究所）
- ③ワクチン保管フリーザーのための非常用小型蓄電池の導入（CONNEXX SYSTEMS株）



○ベンチャー購買制度【京都市】

- ・Aランク認定企業（※）等による新規性を有する商品・役務を本市の随意契約の対象となる「新商品」として認定し、スタートアップの販路開拓を支援する（H20年度～）

（※）「京都市ベンチャー企業目利き委員会」において、有望なスタートアップ企業等の発掘、認定から成長支援までを一貫して行うベンチャーサポート策を展開
（Aランク認定企業数：150社、うち上場：5社（R3.3月末時点））

【認定実績】

44社、67商品（累計数、令和3年3月末）

【主な導入実績】

- ・腐食を抑制する反応性塗料の橋梁や動物園への導入（株京都マテリアルズ）
- ・地震感知器の小学校、感震コンセントの公共建築物への導入（第一通商株）
- ・環境循環型土の小学校への導入（東和スポーツ施設株）
- ・光触媒塗料の公共トイレへの導入（株ササミック）



（例）新素材による京都市の橋梁への塗装

スタートアップの社会実装について（調達・実装支援等）

○スマート災害査定の実証実験の実施（



採択)

京都府とドローン関係・3Dモデル作成のスタートアップ企業、大企業がチームを組み、スマート災害査定の実証実験を実施



【実証実験内容】



ドローンでの自動空撮



撮影データを3Dデータへ変換
⇒測量データの読み取り

オンライン査定

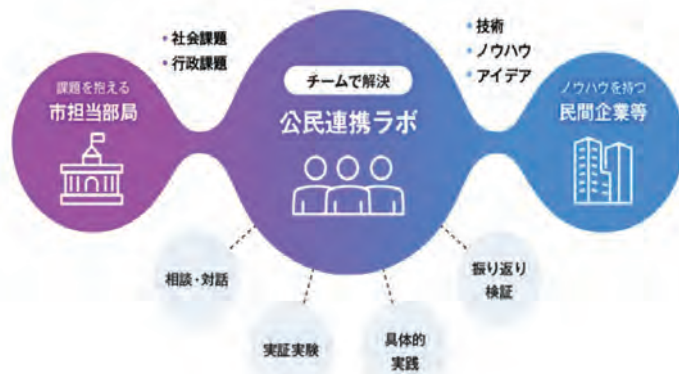
【実証実験結果】

**1現場あたり
業務時間
71%減**

※本結果を踏まえ、現在、国土交通省等関係機関と、実用化に向けて協議中

○Kyoto City Open Lab（京都市）

課題を抱える京都市と、技術・ノウハウを持ったスタートアップ等をマッチング，様々な行政課題その他の社会課題解決を目指す



民間組織の取組（資金調達）

京都では、コロナ渦以前においても大学・民間組織（独立系・金融機関係）のVC出資が盛んに行われている地域である。コロナ以降も、既存組織の新しいファンド組成（京都大学・MZV・京都市等）が行われているほか、新たなファンドを立ち上げる民間組織（フェニクシー・taliki等）もあり、京都のエコシステム全体として、一層エクイティ出資による支援の幅・量が充実している。

京都市内及び関係ファンド一覧

【市】京都市スタートアップ支援ファンド（1号・2号）※FVC・中信・京信・KRP・公庫と連携したファンド。

【京都中央信用金庫】中信ベンチャー・投資ファンド5号

【京信】社会起業家支援新VC「京信ソーシャルキャピタル」

【京信】イノベーションCファンド

【MZV】MBC試作ファンド1号 MBC試作ファンド2号

【栖峰】栖峰投資ワークスファンド

【京都銀行】京銀輝く未来応援ファンド

【京大認定（みやこキャピタル株）】

【京大・icap】京大icapファンド iCAP1号/iCAP2号

【taliki】talikiファンド

【フェニクシー】社会課題解決事業および

大企業発ベンチャー支援ファンド「toberuファンド1号」（2021年4月）

【Plug and Play】Plug and Play Ventures

スタートアップを支援する地域の大企業・中堅企業の取組



複数の地域企業との
社会課題解決アイデアソン

MOVE ON

一般参加可
(学生無料)

例年8月～10月:計2日間集中型

新事業開発や起業経験のある
ファシリテーター・メンターが指導

- 参加企業(昨年度までの例):
シャープ(株)さま、大日本印刷(株)さま、
村田機械(株)さま 他
- 参加学生の所属先(昨年度までの例):
京都工芸繊維大学、龍谷大学 他
*又系理系を問いません。

企業の技術や製品・サービス
と、学生の柔軟な発想を掛け
合わせ、「未来のビジネスア
イデア」を2日間で導く、企業
×学生の共創プログラム。



SCREEN



京都府主催起業家教育事業への協力



自社内起業家育成支援
⇒京都府主催インキュベーションプログラムへの参加



スタートアップ企業との協業によるコンセプトカー「Moeye」発表

（民間企業の取組）【アクセラレーター・アクセラプログラム】



ヘルスケア分野 アクセラレータープログラム

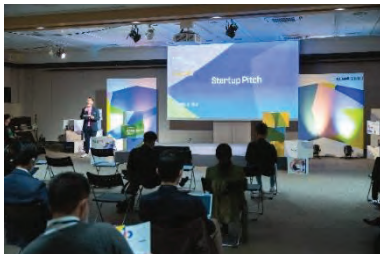
▼2020.5.26 **BATCH 1 EXPO**

- ・登壇スタートアップ：15社（海外5社）
- ・配信視聴者数：575名

▼2021.3.16

Winter/Spring 2021 Summit

- ・登壇スタートアップ：10社（海外4社）
- ・会場参加者数：45名
- ・配信視聴者数：298名



フェニクシー

インキュベーションプログラム

社会課題を解決する「大企業発ベンチャー」の創出支援と社会起業家の育成を行う居住型プログラム
参加者がフェニクシー専用施設「toberu」に4ヶ月居住して各自の事業アイデアを磨き、新規事業創出や起業を目指す取組みを支援



●対象者：ソーシャルイノベーションを志す大企業の従業員や起業家

▶これまでの実績

4クール開催、36名を支援（大企業21名、起業家・学生等15名）

【都市の環境】スタートアップ支援の中心となる施設・場（公的施設・民間施設）

京都スタートアップエコシステムマップ

●：スタートアップ支援の中心となる施設・場（公的施設）

- ①経済センター(KOIN)
- ②イノベーションハブ京都
- ③クリエイションコア京都御車 / ④STC3
- ⑤ Kyoto Makers Garage
- ⑥京大桂ベンチャープラザ / ⑦D-lab
- ⑧京都市成長産業創造センター

●：スタートアップ支援の中心となる施設・場（民間施設）

- ①engawaKYOTO / ②toberu
- ③京都リサーチパーク(KRP)
- ④Canopy・たまり場(KRP内)

●：スタートアップを支援する地域企業

- ①島津製作所 / ②NISSHA / ③オムロン
- ④堀場製作所 / ⑤サムコ / ⑥京セラ
- ⑦クロスエフェクト / ⑧日本電産 / ⑨SCREEN

●：地域で活躍するVC、アクセラ

- ①FVC / ②Plug & Play / ③京都iCAP /
- ④フェニクシー / ⑤taliki / ⑥Monozukuri Ventures

●：シェア・コワーキングスペース

外国人起業家の利用や、町家を改修したもの、またエンジニアやコンテンツクリエイター等業種別に特色を持つスペース等が多様に存在している

- ①アンドワーク京都 / ②FVC Mesh KYOTO
- ③MTRL KYOTO / ④ワコールスタディーホール京都 / ⑤Co&Co / ⑥KRP町家スタジオ / ⑦Impact Hub Kyoto / ⑧Ogyaa's 御池 / ⑨oinai karasuma / ⑩オトナリラボ / ⑪GROVING BASE / ⑫コミュニティラボN5.5 / ⑬CIGOTO no BA / ⑭coto / ⑮コワーキング∞ラボ京創舎 / ⑯Technology Startup Accelerator / ⑰Hanare Iwakura

京都大学エリア

・世界最高水準の研究開発力を持つ京都大学を中心として、京大オリジナル、京都iCAP、関西TLOによる京大発スタートアップ創出を強力に支援
 ・中小機構が運営する「クリエイション・コア京都御車」による、ライフイノベーションの創出及びスタートアップ支援
 ※京都大学工学部には、京大桂ベンチャープラザを設置
 ・優れたビジネスアイデアを有する大企業の社員の方々が、食住を共にしながらイノベーションを創出する取組を行うフェニクシーの拠点「toberu」

市内中心エリア

・京都の経済団体が集結した「京都経済センター」。同センター内の「オープンイノベーションカフェ」では多様な人々が集い「交流と融合」を促すことで新しいビジネスを創出。
 ・世界有数のアクセラレーター・VCであるPnPの京都拠点「engawaKYOTO」で国内外のスタートアップの誘致を実施！

京都知恵産業創造の森



PLUGANDPLAY JAPAN

KRP地区

・480社、約5000人が集積する本市最大の産業集積地域（詳細はP23）



地方独立行政法人 京都市産業技術研究所

K21 京都産業21

けいはんなエリア

・けいはんなオープンイノベーションセンタ（KICK）
 ・学研都市コワーキング「Unicorn」



円：市内中心地（四条烏丸）から
 （赤色）：半径約5km
 （青色）：半径約3km

【都市の環境】令和2年以降の新設スペース

京都地域を中心として、スタートアップインキュベーション施設や、新価値を創造する施設の開設など、京都でのイノベーションに寄与する施設が新設。

令和2年度 新規設立：2件（前ページ★1）

- ①【京都市】淳風bizQ開設
（小学校跡地等を活用したスタートアップ拠点）



※令和3年8月～新たに7区画を整備し入居数増加

②【京信】QUESTION（前ページ★2）

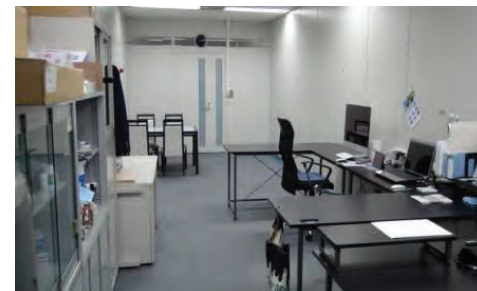
「問い」から新たな価値を生み出す共創空間としてオープン。

また、同施設の1階にawabar Kyotoを併設（経営者や起業家、学生が集まり、対話し、チャレンジを生み出していくような場所を目指す）



令和3年度 新規設立：1件
（前ページ★3）

- ①【けいはんな】「スタートアップルーム」
スタートアップ向け小規模オフィス、交流スペース



With・Afterコロナ

○With・Afterコロナ コロナ禍における補助金支援【京都府】

・新型コロナウイルス感染症対策技術結集事業補助金

微細加工やAI・IoT技術、iPS細胞の培養等、高度な技術力を結集させ、新型コロナウイルス感染症対策に貢献する取組を支援 R2実績：25件

＜成果事例＞（株）アドインテ 令和2年6月3.4億円調達

独自開発したIoT端末「AIBeacon」とデータマネジメントによる混雑状況の可視化及び感染者近接を知らせるアラートを開発。



・コロナ社会対応ビジネスモデル創造事業補助金

京都経済の回復と発展を目指し、WITHコロナ社会からPOSTコロナ社会を見据えた新しい京都産業のビジネスモデルのアイデアを支援 R2実績：68件

＜成果事例＞ HILLTOP（株）

工作機を稼働(加工)させるプログラム(CAM)をAIが自動で生成するシステムを開発。協力企業とのシェアを図ることにより、自社は従来より5倍速く、協力企業はプログラミング人材の確保なしに、CAM生成が可能なAICAMシステムを構築。



○京都市スタートアップによる新型コロナ課題解決事業【京都市】

- ・新型コロナウイルス感染症の拡大により顕在化している社会課題の解決に挑戦するスタートアップの研究開発等を助成
- ・採択件数：124件（応募件数177件）

・採択事例

株式会社ハタプロ：AI ロボットを活用した高齢者のフレイル・口腔ケアプログラム

株式会社バカン：AI とIoT を活用した混雑情報配信事業

株式会社AZOO：ホテル運営の省人化とマイクロツーリズム喚起事業

BABY JOB 株式会社：AI による幼児の発達予測分析を用いた、レコメンドシステムの開発